

修正平成23年3月24日

修正平成22年9月9日

平成22年7月7日

日本レーザークラス協会 強化委員会

2011年レーザー全クラス世界選手権等代表選手選考方針

***平成22年9月9日公示、上記選考方針を平成23年3月24日修正しております。**

・取り消し線は削除、赤字は変更を意味します。

1. レーザー、ラジアル (男子・女子)、世界選手権

代表選手を下記要領で選考する。

(1) 選考大会

- | | |
|------------------------------|-----------|
| ①2010年レーザー全日本選手権兼全日本レディース選手権 | (10月 唐津) |
| ②2010年全日本ラジアル選手権 | (11月 和歌山) |
| ③2011年ナショナルチーム選考レース | (1月 鹿屋) |
| ④2011年ミッドウインター選手権 | (2月 津) |
| ⑤2011年ラジアルスプリングレガッタ | (5月 唐津) |

(2) 選考大会 / 選考枠数

●レーザー男子

- ①レーザー全日本：1枠
- ②ナショナルチーム選考レース： ISAF からの日本国枠総数マイナス1枠

●ラジアル女子

- ①全日本レディース選手権：1枠
- ②ナショナルチーム選考レース： ISAF からの日本国枠総数マイナス1枠

●ラジアル男子

- ①全日本ラジアル：2枠
- ②ミッドウインター： ILCA からの日本国枠総数から①を除いた残枠数の 60%
- ③ラジアルスプリング：ILCA からの日本国枠総数から①を除いた残枠数の 40%

(3) 2011年度 JSAF ナショナルチーム選考方法 (オリンピック艇種)

- ①レーザー全日本選手権兼全日本レディース選手権において最上位の男女各1名を
2011年度 JSAF ナショナルチーム選手としてオリンピック特別委員会へ推薦する。
ただし ISAF 世界選手権代表枠獲得者に限る。
- ②2011年度 J S A F ナショナルチーム選考レースにて実施される。
詳細については2011年度ナショナルチーム選考レース公示参照のこと。

(4) 選考大会成立レース数について

選考大会における成立レース数が3レース未満の大会は、選考大会対象外とし、3レース以上成立した選考大会の成績から選考する。選考大会が複数ある場合は、別紙各クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）にある大会番号の若い順から選考する。

(5) 代表枠の繰り下げについて

代表枠の選考された大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。それでも対象者がいない場合は、他の選考大会の最終成績順に下位選手へ繰り下げる。選考大会が複数ある場合は、別紙各クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）にある大会番号の若い順から選考する。

(6) 参加枠配分について

①小数点以下については四捨五入で算定する。

②ISAF、ILCAからの参加枠付与が減少した場合、別紙各クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）にある大会番号の若い順から選考枠を付与する。

2. 2011年度ラジアルユース世界選手権（男子・女子）

下記（4）に基づき ~~5月最終選考合宿までに~~ 代表候補選手の個人ランキング を作成、~~5月最終選考合宿に14名を招聘し、~~ この上位者から世界選手権代表選手を決定。また世界選手権代表者はジュニア・ユース育成強化委員会にJSAF補助対象選手として推薦される。

(1) ラジアルユース世界選手権代表枠数

ILCAより配分された参加枠数

(2) JSAF補助対象選手数

ジュニア・ユース育成強化委員会が決定し公示

(3) 代表候補選手選考大会

① 2010年全日本ラジアル選手権兼全日本4.7選手権 (11月 和歌山)

② 2011年ミッドウィンター選手権 (2月 津)

③ 2011年ISAFユースワールド選考大会 (4月 和歌山)

~~④ 2011年ラジアルスプリングレガッタ (4月 江の島)~~

(4) 個人ランキング審査項目

①世界選手権代表候補選考大会で獲得した総合成績を使用する。なお複数大会に出場した選手についてはベスト3大会のポイントを使用する。

*選考大会達成率（相対評価）

世界選手権代表候補選手は、異なる大会から選出されるため、出場艇数が異なると想定される。このため各大会における総合成績に対しての獲得最終順位から相対評価を表し、その値を達成率として使用する。

②身体能力測定

別途公示にて定める運動能力測定を実施する。

*運動能力測定については、第1回、~~第2回~~ユースナショナルチーム候補選手合同強化合宿（12月、~~3月~~）、~~世界選手権最終選考合宿（5月）~~内で実施する。

ポイントの加算について

*1回目合宿：第1回ユースナショナルチーム候補選手合同合宿（12月）参加人数から順位をポイント換算し、その30%をランキングに反映させる。

~~*2回目合宿：第2回ユースナショナルチーム候補選手合同合宿（3月）参加人数から順位をポイント換算し、その50%をランキングに反映させる。~~

~~*3回目合宿：世界選手権最終選考合宿（5月）参加人数から順位をポイント換算し、その100%をランキングに反映させる。~~

~~③合宿内選考~~

~~海上/陸上練習からアスリートとして必修である項目について選考委員が評価を行い、ポイント換算し選考判断基準（ランキング）に加える。~~

*審査項目、選手の評価状況について開示を行い、望むべき方向にむけたアドバイス、個別ミーティングを随時行う。

3. 2011年 ISAF ユースワールド代表選手選考方法（ラジアルユース男女各1枠）

2011年4月 ISAF ユースワールド選考大会にて実施される。詳細については JSAF ジュニア・ユース育成強化委員会発表のレース公示参照のこと。

4. 2011年度4.7世界選手権（男子・女子）

下記（4）に基づき ~~5月最終選考合宿までに~~代表候補選手の個人ランキングを作成、~~5月最終選考合宿に12名を招聘し、~~この上位者から世界選手権代表選手を決定。また世界選手権代表者はジュニア・ユース育成強化委員会に J S A F 補助対象選手として推薦される。

（1）世界選手権代表枠数

ILCA より配分された参加枠数

（2）J S A F 補助対象選手数

ジュニア・ユース育成強化委員会が決定し公示

（3）代表候補選手選考大会

- | | |
|----------------------------|------------|
| ①2010年オリンピックウィーク | （10月 江の島） |
| ②2010年全日本ラジアル選手権兼全日本4.7選手権 | （11月 和歌山市） |
| ③2011年ミッドウィンター選手権 | （2月 津） |
| ④2011年スプリングレガッタ | （5月 唐津） |

（4）選考審査項目・内容

①世界選手権代表候補選考大会で獲得した総合成績を使用する。なお複数大会に出場した選手についてはベスト3大会のポイントを使用する。

*選考大会達成率（相対評価）

世界選手権代表候補選手は、異なる大会から選出されるため、出場艇数が異なると想定される。このため各大会における総合成績に対しての獲得最終順位から相対評価を表し、その値を達成率として使用する。

②身体能力測定

別途公示にて定める運動能力測定を実施する。

*運動能力測定については、ユースナショナルチーム候補合同強化合宿（12月）~~および世界選手権最終選考合宿（5月）~~内で実施。

体力測定ポイントの加算について

*第1回目：ユースナショナルチーム候補合同強化合宿（12月）参加人数から順位をポイント換算し、その30%をランキングに反映させる。

~~*第2回目：世界選手権最終選考合宿（5月）参加人数から順位をポイント換算し、その50%をランキングに反映させる。~~

③合宿内選考

~~海上/陸上練習からアスリートとして必修である項目について選考委員が評価を行い、ポイント換算し選考判断基準（ランキング）に加える。~~

*審査項目、選手の評価状況について開示を行い、望むべき方向にむけたアドバイス、個別ミーティングを随時行う。

5. 2011年 冬季海外遠征代表選考（ラジアルユース男女、4.7クラス男女）

下記（3）に基づき代表候補選手の個人ランキングを作成、この上位者から選考委員会において代表選手を決定。代表者はジュニア・ユース育成強化委員会にJSAF補助対象選手として推薦される。

（1）冬期海外遠征代表枠数

①ラジアル枠数 男子2枠 女子1枠（予定）

②4.7 枠数 男女各1枠（予定）

（2）代表候補選手選考大会

①2010年オリンピックウィーク（10月 江の島）

②2010年全日本ラジアル選手権兼全日本4.7選手権（11月 和歌山市）

（3）選考審査項目・内容

代表候補選考大会で獲得した総合成績を使用する。

*選考大会達成率（相対評価）

代表候補選手は、異なる大会から選出されるため、出場艇数が異なると想定される。このため各大会における総合成績に対しての獲得最終順位から相対評価を表し、その値を達成率として使用する。

6. ラジアルユースクラス、4.7クラス 共通事項

（1）選考大会成立レース数について

選考大会における成立レース数が3レース未満の大会は、選考大会対象外とし、3レース以

上成立した選考大会の成績から選考する。

(2) 選考資格者がその資格を辞退した場合について

選考委員会作成のランキング順位の成績順に下位選手へ繰り下げる。

(3) 選考委員会について

選考委員会の構成はレーザークラス協会強化委員長、強化副委員長、及びユース担当コーチ、強化委員会依頼のコーチで構成される。

7. その他

(1) その他国際大会等の派遣について(優先順位の作成・推薦)

国内合宿・海外遠征派遣等の選考大会が実施できない場合で、ジュニア・ユース育成強化委員会から派遣等に関する優先順位決定を求められた場合、本選考方針を基に選考委員会がランキングを作成、選手を決定し推薦する。

(2) 本件についての質疑等については、レーザークラス協会強化委員会あてメール、FAXにて問い合わせください。

日本レーザークラス協会強化委員長 佐々木共之

電子メール アドレス : ilcajpn-kyouka@cityfujisawa.ne.jp

FAX : 0467-76-1052

以 上

クラス選考大会及び選考枠数（選考大会一覧表）

	2010年 オリンピック クウィーク	2010年 全日本選手権 全日本レディーズ	2010年 全日本ラジアル 全日本4.7	2010年 NT選考	2011年 ミッドウインター	2011年 ISAF ユースワールド 選考	2011年 スプリングレ ガッタ
大会番号	⑦	①	③	②	④	⑤	⑥
開催月日 場所	10月 江の島	10月 唐津	11月 和歌山	1月 鹿屋	2月 未定	3月 和歌山	5月 唐津
スタンダード		1枠		日本国枠総 数マイナス 1枠			
ラジアル (女子)		1枠		日本国枠総 数マイナス 1枠			
ラジアル (男子)			2枠		日本国枠 総数から ③を除い た残枠数 の60%		日本国枠 総数から ③を除い た残枠数 の40%
ユースラジ アル (男子) *代表候補 選手枠	各大会での選考枠設定はおこなわずランキング方式を採用する						
ユースラジ アル (女子) *代表候補 選手枠							
4.7 (男子・女 子) *代表候補 選手枠							